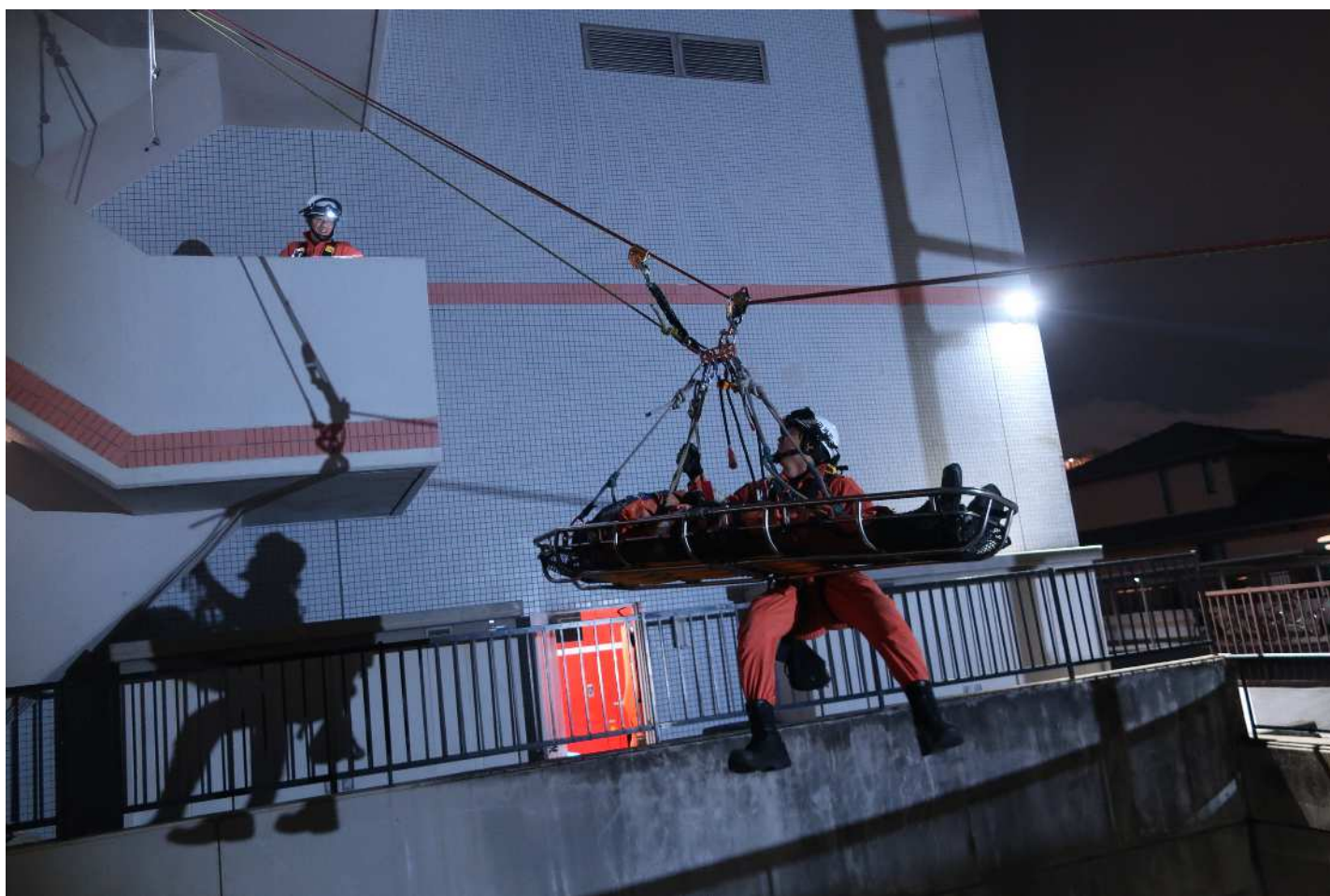


救助編



ロープレスキューによる救出訓練の様子

1. 救助体制

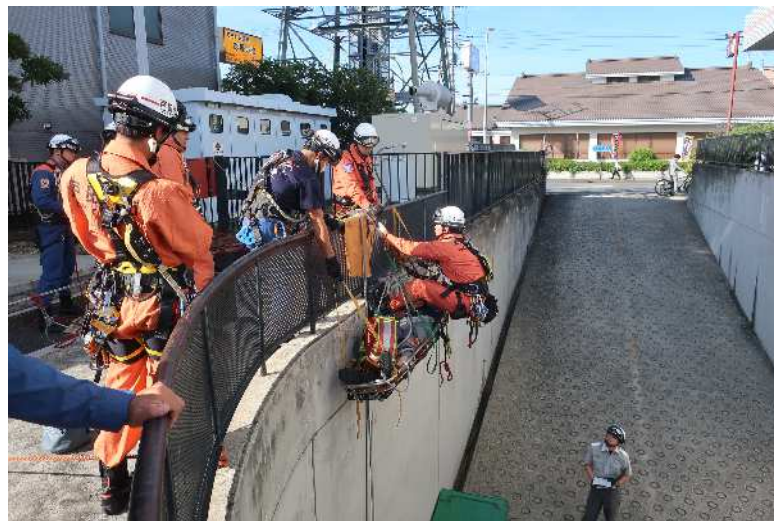
- (1) 本市における救助業務は昭和53年ポンプ車とはしご車の活用により始まり、翌年救助工作車を配備し運用しています。多様化する災害へ対応するべく、平成25年救助隊を特別救助隊へ改め、平成26年には潜水隊を発足し救助体制の更なる構築を図りました。

近年では、都市構造の複雑化及び生活環境の変化等に伴い、災害や事故の態様は多様化の傾向を強めています。また、極端な猛暑や集中豪雨などの異常気象による大規模自然災害のほか、重大事故あるいはNBCやテロ等の新たな災害危険も危惧されているところです。このような状況下において、本市では、市民の安全安心を守るため、実践的な訓練や関係機関との合同訓練を通じた部隊の災害対応力の強化に全力を挙げて取り組んでいます。

- (2) 訓練状況



荒川での水難救助訓練



ロープによる救助訓練



火災現場を想定した訓練



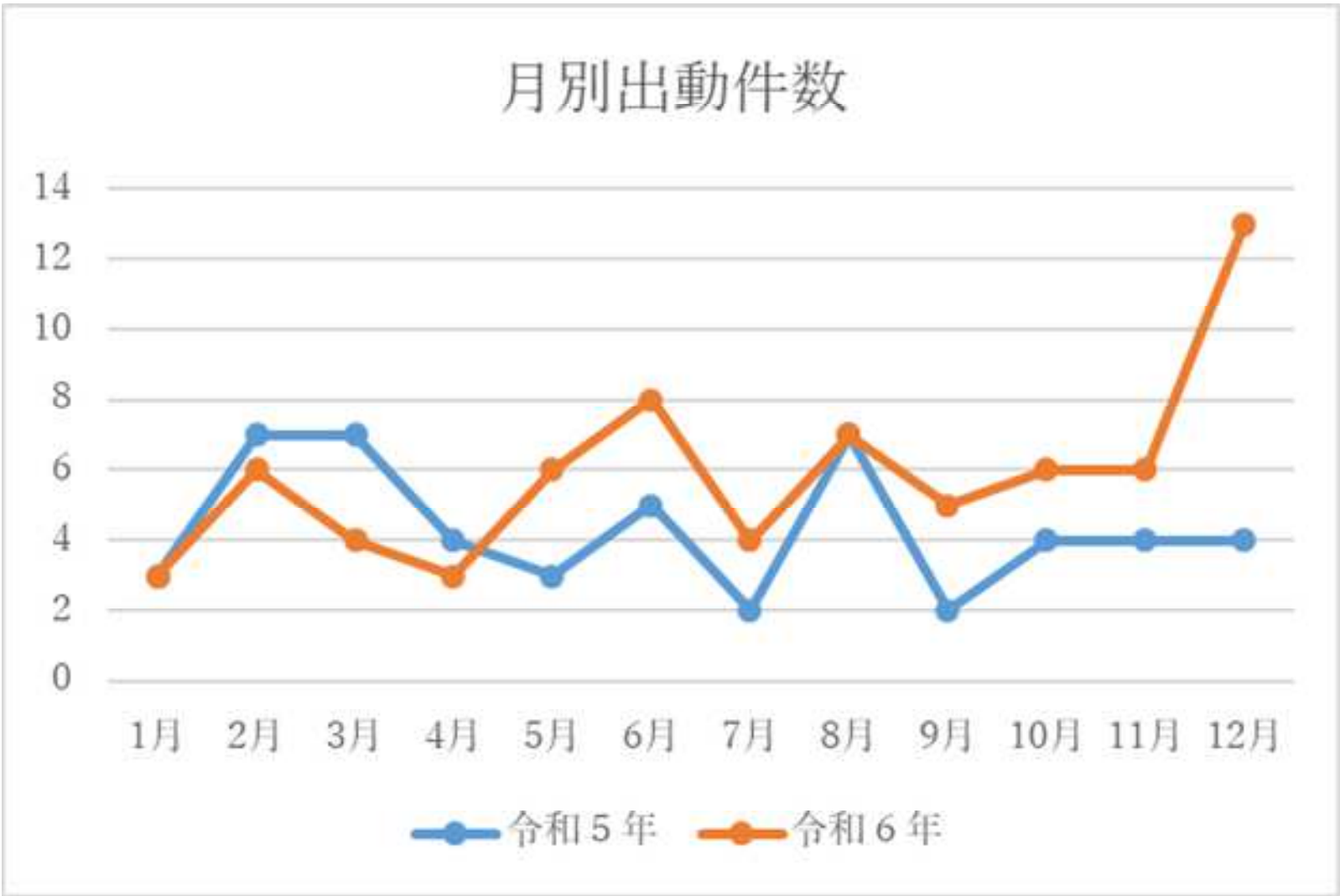
NBC災害を想定した救助訓練

2 . 救助出場状況

(1) 救助出場状況

令和 6 年中

事故種別 区 分	火 災	交 通	水 難	自 風 然 水	機 械	建 物 等	ガ 酸 ス 欠	破 裂	そ の 他	合 計
出場件数	15	17	5		2	19	1		12	71
活動件数	15	12	1		2	15	1		6	52
救助人員	3	14	0		2	15	1		5	40
活動人員	119	117	6		27	128	9		37	443
活動車両	35	40	3		8	40	3		11	140



(2) 活動概要

令和 6 年中 主な救助

発生月	発生場所	事故種別	活動概要
2 月	美女木東地内	交通事故	2 トントラックが乗用車に追突し、2 トントラック運転手の両下腿がダッシュボードと座席の間に挟まれ脱出不能になったもの。油圧救助器具にて運転席側のドアを解放、A ピラーの切断及び運転席の拡張を実施し、男性 1 名を救出する。
2 月	笹目北町地内	機械による事故	フォークリフトを運転中の男性 1 名が、バランスを崩し転倒したフォークリフトのヘッドガードフレームと床面の間に挟まれたもの。マット型空気式ジャッキを使用し、車両を持ち上げて救出する。
3 月	下前地内	交通事故	子供 2 名が 1 台の自転車に乗車し走行していたところ、左足関節付近を自転車のフレームとスポークの間に挟まれたもの。鉄線カッターを使用してスポークを 2 か所切断し救出する。
4 月	笹目地内	建物等による事故	2 階建て共同住宅において、子供が誤って内側から鍵をかけ居室内に取り残されたもの。三連梯子を使用してバルコニー内へ進入し、建物の窓を破壊後、居室内に取り残されていた女兒を救出する。
5 月	川岸地内	建物等による事故	居室内トイレのドアノブが壊れ、男性 1 名が脱出できなくなったもの。工具にてドアを開放し救出する。
6 月	川岸地内	水難事故	男性 1 名が河川に浮いている状態との救助要請。要救助者を岸付近まで救出する。
7 月	新曽南地内	ガス及び酸欠事故	男性 1 名が洗面台で薬品を混ぜ、脱衣所で倒れていたもの。空気呼吸器を着装し屋内進入後、脱衣所にて仰臥位で倒れている要救助者を救出する。
8 月	本町地内	その他の事故	普通自動車の鍵が何らかの理由で閉まり、1 歳男児が閉じ込められたもの。運転席側前部のフロントベンチガラスを粘着テープにて養生したのち、ポンチにより窓を破壊。鍵を開錠し 1 歳男児を救出する。
9 月	大字新曽地内	交通事故	駅のホームから 40 代の女性が線路上に飛び込み電車と接触したもの。発見時意識があり、線路上でバックボードに全身固定を実施後、ホーム上に救出する。
10 月	新曽南地内	建物等による事故	公衆トイレ内で 80 代男性が腰痛のため体動困難となり、公衆トイレ個室の扉が開放できず脱出不能となったもの。隊員 1 名が進入し救出する。
11 月	喜沢地内	建物等による事故	70 代男性が居室の押し戸にもたれかかってドアが開かず閉じ込められたもの。隊員 2 名によってドアを開放し救出する。
12 月	南町地内	機械による事故	工場内で作業中の 60 代男性が、シャーリングマシンの歯車に右手の第 2 指から第 5 指が巻き込まれたもの。シャーリングマシンの歯車を逆回転させ挟まれ状態を解除し救出する。

(3) 他市救助応援出場状況

令和 6 年中

事故種別 管轄	火 災	交 通	水 難	自 風 然 水	機 械	建 物等	酸 ガ 欠 ス	破 裂	そ の他	合 計
蕨市消防本部										0
川口市消防局										0
さいたま市消防局		2								2
埼玉県南西部消防局		1	1							2
東京消防庁			2							2
合計	0	3	3	0	0	0	0	0	0	6

(4) 救助活動現場



横転事故車両からの救助活動



衝突事故車両からの救助活動



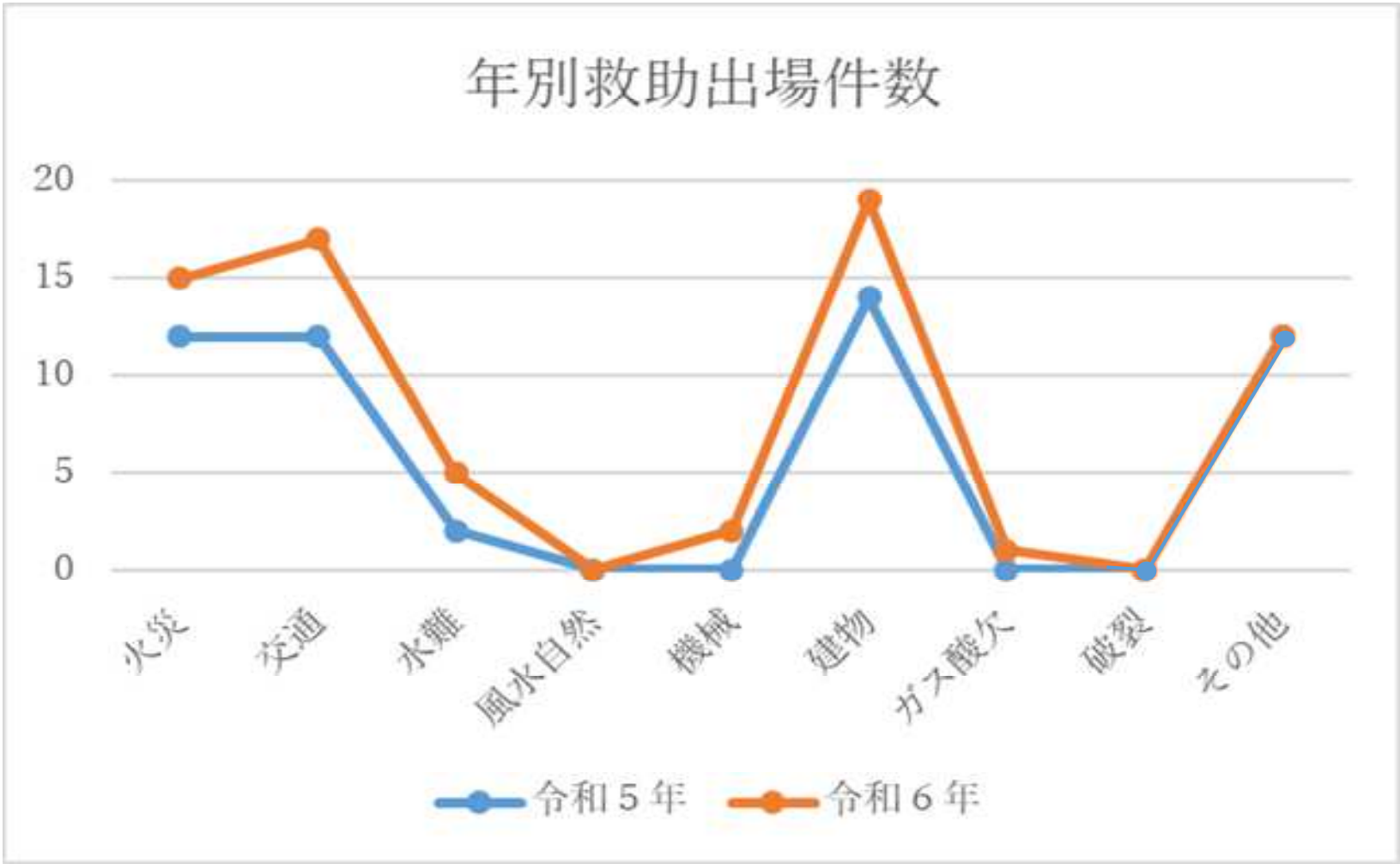
衝突事故車両からの救助活動



車両クレーンを使用した救助活動

3 . 救助出場の推移

種別 年別	火災	交通	水難	自風 然水	機械	建物等	酸ガ 欠ス	破裂	その他	件出 数場	件活 数動
令和2年	17	14	9		2	12	1		11	66	43
令和3年	17	9	10		2	5	2		15	60	44
令和4年	13	17	14			10			4	58	43
令和5年	12	12	2			14			12	52	39
令和6年	15	17	5		2	19	1		12	71	52



4 . 消防本部保有資機材

令和6年4月1日現在

一般救助用器具	保有数	重量物排除用器具	保有数	切断用器具	保有数
・ かぎ付はしご ・ 三連梯子 ・ 金属製折りたたみ梯子 又はワイヤー梯子 ・ 空気式救助マット ・ 救命索発射銃 ・ サバイバースリング又は救助用縛帯 ・ 平担架	9(2) 7(1) 2(2) 1(1) 1(1) 12(11) 1(1)	・ 油圧ジャッキ ・ 油圧スプレッダー ・ 可搬ウィンチ ・ マンホール救助器具 ・ 救助用簡易起重機 ・ マット型空気ジャッキ ・ 大型油圧スプレッダー ・ 救助用支柱器具 ・ チェーンブロック 3(3) 2(2) 2(2) 1(1) 0 1(1) 1(1) 2(2) 1(1)	・ 油圧切断機 ・ エンジンカッター ・ ガス溶断器 ・ チェーンソー ・ 鉄線カッター ・ 空気鋸 ・ 大型油圧切断機 ・ 空気切断機 ・ コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー 3(3) 8(2) 1(1) 4(1) 11(3) 1(1) 1(1) 1(1) 0		
破壊用器具	保有数	検知・測定用器具	保有数	呼吸保護用用具	保有数
・ 万能斧 ・ ハンマー ・ 携帯用コンクリート破壊器具 ・ 削岩機 ・ ハンマドリル	15(5) 7(1) 1(1) 1(1) 1(1)	・ 生物剤検知器 ・ 可燃性ガス測定器 ・ 有毒ガス測定器 ・ 酸素濃度測定器 ・ 放射線測定器 ・ 化学剤検知器 ・ 有毒ガス検知管 1 0 4(2) 6(4) 4(2) 5(4) 1(1) 1(1)	・ 空気呼吸器 ・ 空気補充用ボンベ ・ 酸素呼吸器 ・ 簡易呼吸器 ・ 防塵マスク ・ 送排風機 ・ エアラインマスク 51(10) 67(2) 5(5) 4(4) 16(5) 1(1) 0		
隊員保護用器具	保有数	除染用器具	保有数	水難救助用器具	保有数
・ 耐電手袋 ・ 耐電衣 ・ 耐電ズボン ・ 耐電長靴 ・ 防塵メガネ ・ 携帯警報器 ・ 防毒マスク ・ 化学防護服（陽圧式化学防護服を除く） ・ 陽圧式化学防護服 ・ 耐熱服 ・ 放射線防護服 ・ 特殊ヘルメット	7(5) 7(5) 7(5) 7(5) 25(5) 24(5) 16(10) 34(4) 5(5) 3(0) 2(2) 7(5)	・ 除染シャワー（歩行可能者用） ・ 除染シャワー（歩行可能者用・担架用） ・ 除染剤散布器 ・ 除染シャワー（多人数対応用） 0(0) 1(0) 1(0) 0	・ 潜水器具 ・ 救命胴衣 ・ 水中投光器 ・ 救命浮環 ・ 浮標 ・ 救命ボート ・ 船外機 ・ 水中スクーター ・ 水中無線機 ・ 水中時計 ・ 水中テレビカメラ 18(18) 50(15) 15(15) 8(4) 6(2) 7(1) 7(1) 0 1(1) 17(17) 0		
山岳救助用器具 ・ 登山器具 ・ バスケット型担架	保有数 0 3(3)	検索用器具 ・ 簡易画像探索機 その他の救助用器具 ・ 投光器 ・ 携帯投光器 ・ 携帯拡声器 ・ 携帯無線機 ・ 応急処置用セット ・ 車両移動器具 ・ 緩降機 ・ ロープ登降機 ・ 救助用降下機 ・ 発電機 保有数 2(2) 保有数 10(2) 30(9) 21(6) 27(3) 6(1) 2(2) 3(2) 7(7) 10(10) 14(5)	高度救助用器具 ・ 画像探索機 ・ 地中音響探知機 ・ 熱画像直視装置 ・ 夜間用暗視装置 ・ 電磁波探査装置 ・ 二酸化炭素探査装置 ・ 水中探査装置 ・ 地震警報器 保有数 0 0 3(1) 0 0 0 0 0 0		

この表は、救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令を基に作成したもの。

（ ）内の数は、特別救助隊保有数。

¹ 救助調査業務の項目に該当しないが、当市において保有している資機材。